

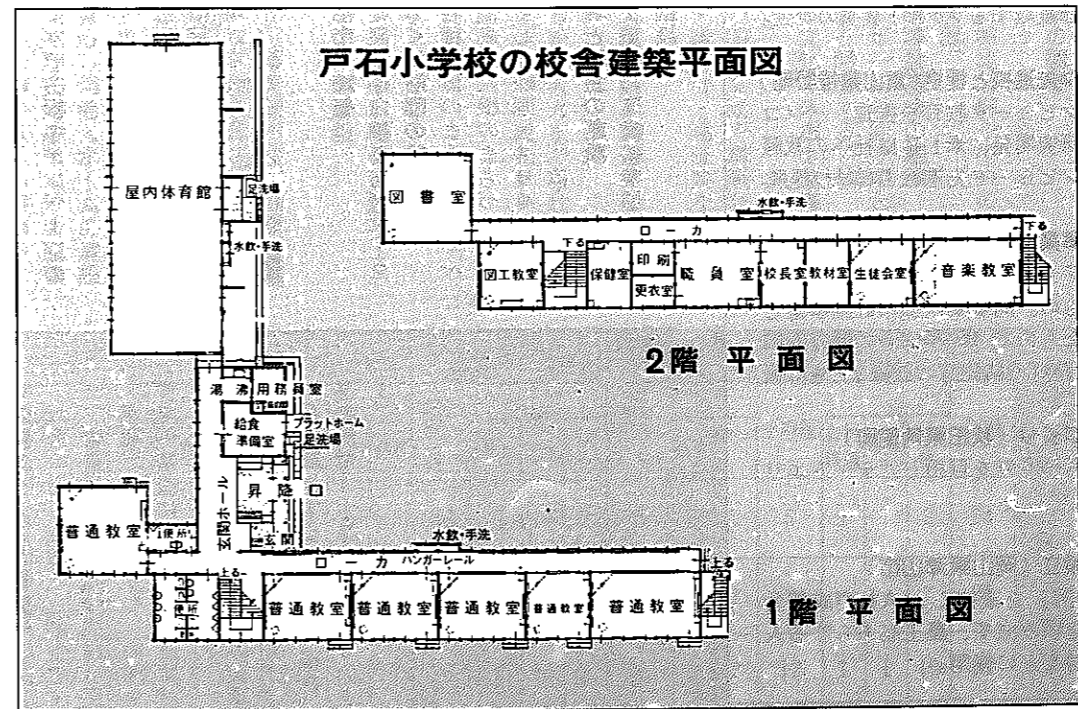
戸石小校舎建築工事始まる



65年の公務員生活  
にピリオド 御苦勞さまでした 小林 助 役

六月三十日、小林啓一郎助役は、足かけ六十五年の公務員生活に別れを告げました。  
この日、午前九時半に市長から退職辞令を受けた後、同十時からの退任式に臨んだ小林助役は、職員を前に「六十五年間の出来事は走馬灯のように駆け巡っています。思い出は尽きません。今後は、一市民として市政のお手伝いをしたい」と最後のあいさつ。  
退任式の後、玄関ロビーに出て来た小林助役に、女子職員から花束の贈呈。おおいの職員から拍手で見送られ、市役所を後にしました。

戸石小学校の火災事故に伴う、校舎建築工事（工事名「戸石小学校校舎復旧工事」）が開始されました。工事は、二期から新校舎で授業を開始するため、夏休み期間中の完成を目指し進められます。  
一日も早く正常な授業を開始するため、市では七月十一日に工事費の見積もり合わせを行い、建築請負業者を内定。七月十五日に臨時市議会を召集し、請負契約の締結が可決され、正式に建築業者が決定しました。  
請負契約は、本来工事の種類別に発注されますが、一日も早く完成する必要があるため、今回は一括契約となっています。  
請負契約の内容は次のとおり。  
□建築請負業者「小松ハウス㈱」  
北陸営業所（黒埜町）  
□契約金額「九千五百七十九万円」  
□建築物の構造「軽量鉄骨（プレハブ）一部二階建て（体育館を含む）」  
□建築面積「一階床面積：七百二十六平方メートル、二階床面積：三百七十九平方メートル、延べ床面積：一千五百五平方メートル」

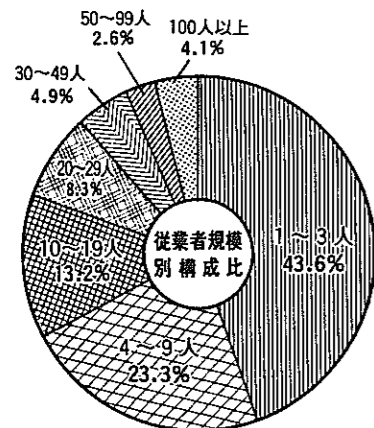
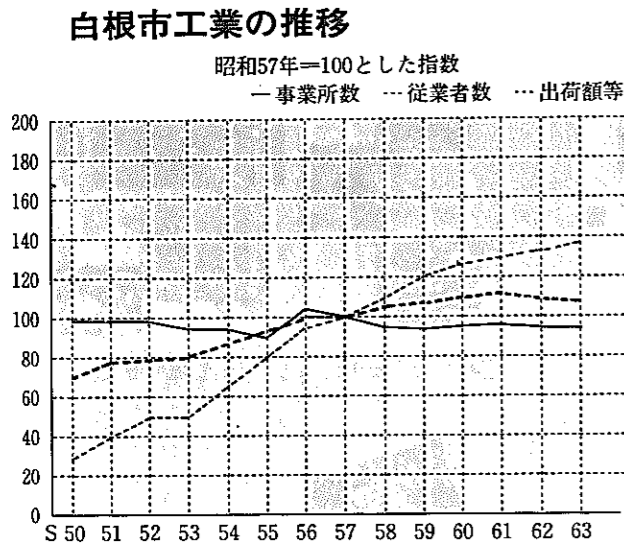


工業統計  
63年12月31日現在  
出荷額は2.3%増加

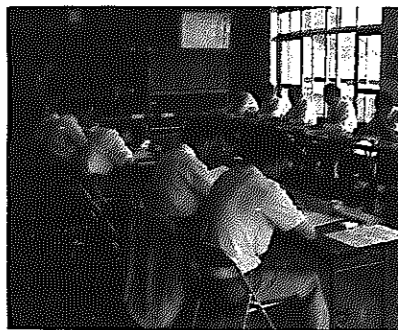
皆さんのご協力をいただき、昨年十二月三十一日現在で実施した「工業統計調査」の白根市分の調査結果がまとまりました。  
その結果、白根市全体で事業所数は二百六十六、従業者数は五千五百四十六人、製造品出荷額等は一千七百七億九千五百三十五万円でした。  
事業所数を前年と比較すると〇・四％（一事業所）の減少です。これを従業者の規模別に見ると、四十九人以下の事業所数は二百四十八事業

所で、全体の九三・三％を占めています。  
従業者数を前年と比較すると〇・一％（四人）の増加で、大きな変化は見られませんでした。  
製造品出荷額等は前年と比較すると二・三％（二十四億二千五百三十五万円）の増加です。  
農・工・商、調和のとれた産業都市を目指す本市は、和泉地域と北部地域に、農村地域工業導入促進法に基づく工業団地を造成。企業の誘致に努めてきました。このことが製造品出荷額等の伸びに好影響を与えています。

この調査結果は、概要として掲載したものですので、後日、国、県が公表する数値と異なることがあります。

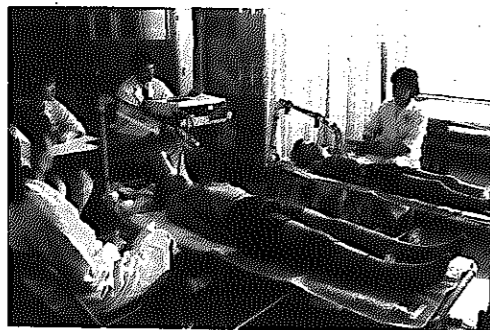


農家の花嫁花婿不足解消に「白根市嫁婿協議会」が発足



農家の花嫁花婿不足の解消のため、市内の農業関係機関団体や普及所などが参加し「白根市嫁婿対策協議会」が、七月六日発足しました。  
同協議会では、農家の未婚者の結婚相談活動と交流活動を重点に推進することを決定。結婚相談活動は、結婚希望者の登録に基づき相談委員が結婚相手を紹介するもの。また、交流活動は、未婚後継者自らが中心となって交歓交流会を開き、花嫁花婿の出会いのチャンスをつくろうとするものです。  
結婚希望者の登録を行っていますので、希望する人はご利用ください。（秘密は厳守します）  
□問い合わせと登録先 農政課 農政係（☎234）

神妙な顔付きで受診——中学生心臓健診



マラソンや登山などの激しい運動で、小中学生が突然死亡する事故があります。この突然死亡は、心臓疾患に気付かずに行っていた事故につながるケースがほとんどで、昭和五十九年から六十一年の新潟県心臓系突然死亡の発生率は全国第三位でした。  
そこで、事故が起こる前に心臓疾患を持つ子どもを把握し、適切な指導ができるようにと、六月二十六日から三十日まで中学生の心臓健診が行われました。対象となったのは一年生五百二人。心臓健診はほとんどの生徒が初めてとあって、みんな神妙な顔付きで受診していました。  
▲庄瀬中学校で